

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 お礼の手紙の組み立てとして、正しい順にならんでいるものを一つえらびましょう。

ア 本文↓拝啓↓名前↓日づけ

イ 拝啓↓あいさつ↓本文↓敬具↓日づけ↓名前

ウ 拝啓↓本文↓あいさつ↓日づけ↓敬具

エ あいさつ↓拝啓↓本文↓敬具↓名前

答え

2 次の文を、手紙にふさわしいでない言い方に直します。ア・イに入る言葉を書きましょう。

わたしたちは工場を見た。 ↓ わたしたちは工場を

また教えてほしい。 ↓ また教えて

ア

イ

3 工場の見学のお礼の手紙に書くことよいことを、ア～エから二つえらびましょう。

ア 教えてもらって分かったこと

イ 自分の家から工場までの行き方

ウ 見学で心にのこったこと

エ 工場でもらったおかしのねだん

答え

答え

4 あとの文を、前の文にそろえて直します。よいものを一つえらびましょう。

わたしたちは工場を見学しました。 きかいの音が大きかった。

ア きかいの音は、とても大きかった。

イ きかいの音が大きかったです。

ウ きかいの音が大きい。

答え

文の終わりが、二つの文でそろっているかな。

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4

めやす15分

名前

のどかさんは、見学のお礼の手紙を書きました。【手紙】と【見学メモ】を読んで答えましょう。

1 何を見学したお礼の手紙ですか。【手紙】から四字で書きぬきましょう。

【手紙】

拝啓 すずしい風がふくころとなりました。

先日は、パン工場を見学させていただき、ありがとうございました。

きかいがパン生地をうすくのばすところを見て、一つずつ手で丸めていると思っていたわたしはおどろきました。

山田さんが「毎日同じ味にするのが一番むずかしい」と教えてくださったことが、心にのこっています。

これから社会の新聞にまとめます。ありがとうございます。ございました。

敬具

十月二十一日

四年二組 のどか

みどりパン工場 山田様

【見学メモ】

◎ きかいが生地をうすくのばす

◎ 毎日同じ味にするのが一番むずかしい（山田さんの話）

○ 一日に8000こ作る

・ 白いぼうしとマスクをつける

◎=ぜひ伝えたい ○=伝えてもよい

2 【見学メモ】にあって【手紙】に書かれていないことを、二つえらびましょう。

ア 白いぼうしとマスクをつけること

イ きかいが生地をうすくのばすこと

ウ 毎日同じ味にするのがむずかしいこと

エ 一日に作る数

答え

答え

【見学メモ】の四つを、上から順に【手紙】でさがそう。

3 ア・イにあてはまる言葉を、【手紙】から書きぬきましょう。

手紙は「ア」で始まり、「イ」で終わっている。

ア

イ

4 のどかさんが山田さんの言葉をそのまま書いたのはなぜですか。一つえらびましょう。

ア 手紙を長くすることができから

イ 自分の考えを書かなくてすむから

ウ 教えてもらったことが、たしかに伝わるから

答え

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道を立てる

1 2 3 4 めやす15分

名前

ちあきさんは、お礼の手紙の下書きを書いて、先生に見てもらいました。【下書き】と【先生のメモ】を見て答えましょう。

【下書き】

拝啓

先日は、パン工場を

見学させていただき、ありがとうございました。ございました。

工場はとても広かった。

動いているきかいもたくさんあった。

また行きたいです。

敬具

四年二組

ちあき

【先生のメモ】

○ 拝啓と敬具は書けています

▲ 拝啓のあとが空いています

▲ 文の終わり方がそろっていません

▲ 敬具のあとがぬけています

1

▲の一つ目について、書き足すとよい文をえらびましょう。
ア 見学した人は三十二人でした。

イ すずしい風がふくころとなりました。

ウ 工場の住所は、みどり町一丁目です。

答え

2

ア、ウにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう 三つ目の文は「広かった」で終わり、ほかの文の「ア」とそろっていません。手紙は「イ」言い方にそろえます。敬具のあとには「ウ」を書きます。

ア

イ

ウ

3

【下書き】の三つ目の文を書き直します。よいものをえらびましょう。

ア 工場はとても広かったし、きかいもあった。

イ 工場は広い。きかいも多い。

ウ 工場はとても広く、動いているきかいもたくさんありました。

答え

4

「また行きたいです。」の前に書き加える一文をえらびましょう。

ア きかいが生地をうすくのばすところが、心へのこりました。

イ 工場の場所は、駅から歩いて十分でした。

ウ パン一つのねだんを教えてください。

答え

見学して心へのこったことが、相手に伝わる文かな。

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

4まい目 あらわす

考えと理由を文章で書く

1 2 3 4

めやす15分

名前

せなさんは、お礼の手紙の中心になる部分の下書きを書きました。【メモ】と【下書き】を読んで答えましょう。

答え

1 【メモ】の◎を書き加えるとよいのは、①②③のどのだんらくのあとですか。番号で答えましょう。

見学のお礼は、心にのこったことを中心に書くよ。

【下書き】

① 先日は、パン工場を見学させていただき、ありがとうございました。
② 工場では、たくさんのかいかが動いていました。
③ これから社会の新聞にまとめます。ありがとうございます。ありがとうございました。

答え

2 書き加える一文として、よいものをつえらびましょう。
ア パン工場は、駅から歩いて十分のところにあります。
イ かいかが生地をうすくのばすところを見て、おどろきました。
ウ かいかの数を数えてみたいと思いました。

3

【メモ】の◎二つを使って、②のあとに書き加える二文を、四十字以内で書きましょう。「山田さん」という言葉を使います。

つかうことば

山田さん

【メモ】

- ◎ かいかが生地をうすくのばすのを見ておどろいた
- ◎ 山田さんの話「毎日同じ味にするのが一番むずかしい」
- ・ 白いぼうしとマスクをつけた

◎ = ぜひ伝えたい

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

答え

1 お礼の手紙の組み立てとして、正しい順にならんでいるものを一つえらびましょう。

ア 本文↓拝啓↓名前↓日づけ

イ 拝啓↓あいさつ↓本文↓敬具↓日づけ↓名前

ウ 拝啓↓本文↓あいさつ↓日づけ↓敬具

エ あいさつ↓拝啓↓本文↓敬具↓名前

答え

イ

2 次の文を、手紙にふさわしい言い方に直します。ア・イに入る言葉を書きましょう。

わたしたちは工場を見た。 ↓ わたしたちは工場を

また教えてほしい。 ↓ また教えて

ア 見ました

イ ほしいです

3 工場の見学のお礼の手紙に書くといいいことを、ア・エから二つえらびましょう。

ア 教えてもらって分かったこと

イ 自分の家から工場までの行き方

ウ 見学で心にのこったこと

エ 工場でもらったおかしのねだん

答え

ア

答え

ウ

4 あとの文を、前の文にそろえて直します。よいものを一つえらびましょう。

わたしたちは工場を見学しました。 きかいの音が大きかった。

ア きかいの音は、とても大きかった。

イ きかいの音が大きかったです。

ウ きかいの音が大きい。

答え

イ

文の終わり方が、二つの文でそろっているかな。

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

2まい目 よみとる

文章と資料から読み取る

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

のどかさんは、見学のお礼の手紙を書きました。【手紙】と【見学メモ】を読んで答えましょう。

1 何を見学したお礼の手紙ですか。【手紙】から四字で書きぬきましょう。

パン工場

2 【見学メモ】にあって【手紙】に書かれていないことを、二つえらびましょう。

ア 白いぼうしとマスクをつけること

イ きかいが生地をうすくのばすこと

ウ 毎日同じ味にするのがむずかしいこと

エ 一日に作る数

答え ア

答え

エ

【見学メモ】の四つを、上から順に【手紙】でさがそう。

3 ア・①にあてはまる言葉を、【手紙】から書きぬきましょう。

手紙は「ア」で始まり、「①」で終わっている。

ア

拝啓

①

敬具

4 のどかさんが山田さんの言葉をそのまま書いたのはなぜですか。一つえらびましょう。

ア 手紙を長くすることができから

イ 自分の考えを書かなくてすむから

ウ 教えてもらったことが、たしかに伝わるから

答え

ウ

【見学メモ】

- ◎ きかいが生地をうすくのばす
 - ◎ 毎日同じ味にするのが一番むずかしい（山田さんの話）
 - 一日に8000こ作る
 - ・ 白いぼうしとマスクをつける
- ◎=ぜひ伝えたい ○=伝えてもよい

【手紙】

拝啓 すずしい風がふくころとなりました。

先日は、パン工場を見学させていただき、ありがとうございました。

きかいがパン生地をうすくのばすところを見て、一つずつ手で丸めていると思っていたわたしはおどろきました。

山田さんが「毎日同じ味にするのが

一番むずかしい」と教えてくださったことが、心にのこっています。

これから社会の新聞にまとめます。ありがとうございます。

敬具

十月二十一日

四年二組 のどか

みどりパン工場 山田様

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

3まい目 かんがえる

くらべて筋道を立てる

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

ちあきさんは、お礼の手紙の下書きを書いて、先生に見てもらいました。【下書き】と【先生のメモ】を見て答えましょう。

【下書き】

拝啓

先日は、パン工場を

見学させていただき、ありがとうございます。

工場はとても広かった。

動いているきかいもたくさんあった。

また行きたいです。

敬具

四年二組

ちあき

【先生のメモ】

○ 拝啓と敬具は書けています

▲ 拝啓のあとが空いています

▲ 文の終わり方がそろっていません

▲ 敬具のあとがぬけています

1 ▲の一つ目について、書き足すとよい文をえらびましょう。

ア 見学した人は三十二人でした。

イ すずしい風がふくころとなりました。

ウ 工場の住所は、みどり町一丁目です。

答え

イ

2

ア、イ、ウにあてはまる言葉を書きましょう。

考え方のとちゅう 三つ目の文は「広かった」で終わり、ほかの文の「ア」とそろっていません。手紙はイ 言い方にそろえます。敬具のあとにはウを書きます。

ア

ました

イ

ていねいな

ウ

日づけ

3

【下書き】の三つ目の文を書き直します。よいものをえらびましょう。

ア 工場はとても広かったし、きかいもあった。

イ 工場は広い。きかいも多い。

ウ 工場はとても広く、動いているきかいもたくさんありました。

答え

ウ

4

「また行きたいです。」の前に書き加える一文をえらびましょう。

ア きかいが生地をうすくのばすところが、心にのこりました。

イ 工場の場所は、駅から歩いて十分でした。

ウ パン一つのねだんを教えてください。

答え

ア

見学して心にのこったことが、相手に伝わる文かな。

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

4まい目 あらわす

考えと理由を文章で書く

1 2 3 4

めやす15分

答え

名前

せなさんは、お礼の手紙の中心になる部分の下書きを書きました。【メモ】と【下書き】を読んで答えましょう。

1 【メモ】の◎を書き加えるとよいのは、①～③のどのだんらくのあとですか。番号で答えましょう。

答え

②

見学のお礼は、心にのこったことを中心に書くよ。

【下書き】

- ① 先日は、パン工場を見学させていただき、ありがとうございました。
- ② 工場では、たくさんのかいぎが動いていました。
- ③ これから社会の新聞にまとめます。ありがとうございました。

2 書き加える一文として、よいものをつえらびましょう。

ア パン工場は、駅から歩いて十分のところにあります。

イ かいぎが生地をうすくのばすところを見て、おどろきました。

ウ かいぎの数を数えてみたいと思いました。

答え

イ

3 【メモ】の◎二つを使って、②のあとに書き加える二文を、十字以内で書きましょう。「山田さん」という言葉を使います。

つかうことは

山田さん

かいぎが生地をのばすのを見ておどろきました。
山田さんの言葉が心にのこりました。

【メモ】

- ◎ かいぎが生地をうすくのばすのを見ておどろいた
- ◎ 山田さんの話「毎日同じ味にするのが一番むずかしい」
- ・ 白いぼうしとマスクをつけた

◎=ぜひ伝えたい